

2022 宮崎初かつおフェア実績報告書



宮崎初かつおフェア実行委員会事務局
 (宮崎のさかなビジネス拡大協議会事務局)
 (宮崎県おさかな普及協議会連合会事務局)

全国に先駆けて水揚げされる「初かつお」を県内消費者に広くPRすることで、宮崎県が27年連続日本一の漁獲量である「近海かつお一本釣り漁業」や令和3年2月に日本農業遺産に認定された「日南かつお一本釣り漁業システム」の認知度向上を図り、日南・南郷地区で実施されるかつおフェアとも連携・連動し、宮崎初かつおの消費拡大と県民の食としての一層の定着を推進した。

河野知事も応援!!

「食×農×音楽の祭典」(2022.5.3)

1 事業実績 (フェア期間: 3月1日~4月30日)

2022 宮崎初かつお関連フェア・イベント 取組一覧										
	取り組みの内容	場所	3月			4月			実施主体等	
			上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬		
県内全域	宮崎初かつお漁期到来宣言	(株)宮崎魚市場	3/1						宮崎初かつおフェア実行委員会 (宮崎のさかなビジネス拡大協議会)	
	宮崎初かつおフェアPR	県政番組 (MRT,UMK), 視聴者プレゼント	2/26	27						
	初かつおフェア TVPR	UMK U-doki 「今が旬! 初カツオ!」	3/12							
	new! 初かつおフェア TVCM	UMKスポットCM (3/18-4/15,30回)				3/18	4/15			
	宮崎初かつおフェア	県内量販店 (イオン、マックスバリュ、Aコープ、生協等 約144店舗) でのPR	3/1	4/30						宮崎初かつおフェア実行委員会 (宮崎県おさかな普及協議会連合会)
	new! かつお漁師太鼓判! 「日南産大判かつお」の産地直送販売	県内イオン、マックスバリュ全店	3/1	4/30						日南のさかな消費拡大事業実行委員会 イオン九州
	new! 南九州大学の学生さん開発レシピを活用した「かつお総菜」の販売	県内イオン、マックスバリュ	3/26	4/30 (イオン宮崎店) 3/31	4/30 (MV浮之城店,清武店,霧島店,橋通西店,宮崎駅東店) 4/7	4/30 (MV綾店,木花台店,西都店,島之内店,高鍋店,田野店,都北店)				農業遺産保全協議会 南九州大学 宮崎のさかなビジネス拡大協議会 イオン九州
宮崎市内	new! 日南初かつおフェア	イオン宮崎店特設コーナー 「宮崎県産かつおを使った加工品」販売など					4/15	17	農業遺産保全協議会 イオン九州	
	new! 日南フェア	宮崎観光ホテル					4/1	5/31	日南市・宮崎観光ホテル 宮崎のさかなビジネス拡大協議会	
	new! 南九州大学の学生さん開発レシピを活用した「かつおメニュー」の提供	宮崎観光ホテル 一木一草						日南フェア期間中	農業遺産保全協議会 南九州大学 宮崎のさかなビジネス拡大協議会 宮崎観光ホテル	
日南市内	南郷かつおめしフェア	ホテル丸万、鈴之家旅館、港の駅めいっつ、御食事処まつ、鮫江戸國	3/1	3/31					南郷どれさかな料理フェア実行委員会 宮崎初かつおフェア実行委員会	
	new! 外浦かつおフェア	道の駅なんごう	3/1	5/8					外浦漁協、道の駅なんごう 宮崎のさかなビジネス拡大協議会	
	めいっかつおフェア	港の駅めいっつ (南郷漁協)	3/8	26					南郷漁協	
	JF日南市直売所「はまっこ」おさかな祭り	JF日南市直売所「はまっこ」(大堂津漁港)		3/20					日南市漁協 宮崎のさかなビジネス拡大協議会	
	日南一本釣りカツオ炙り重フェア	ギャラリーこだま、天然温泉ひなたの宿日南宮崎、うなぎ料理大清、堀川レストランとむら、ホテルシーズン日南、四季の味みどりや、びびんや、港の駅めいっつ、三代目まんりょう					4/1	4/30	日南一本釣りカツオ料理推進協議会 宮崎初かつおフェア実行委員会	
県外	new! みやざき地域リレーフェア (かつおフェア)	新宿KONNE	2/23	3/1					日南市水産振興対策協議会	

※ 今年初めて実施した取組には「new!」と記入

(1)宮崎初かつお漁期到来宣言 (R4.3.1)



宮崎市中央卸売市場内

- ・過去2月の実施（2021年は実施せず）を本格的なカツオの水揚げが始まる3月に変更
- ・MRT、UMK、NHKの各テレビニュースで報道され、県民への初かつおシーズン到来をPR
- ・宮崎魚市場の仲買・仲卸ルートで県内量販店141店舗にのぼり旗を配布し、店内掲示により宮崎かつおの宣伝と購買を促進

(2)初かつおフェアTV番組PR

2022年03月14日
今が旬！初カツオ！（2022年03月12日放送）



- ・3月12日（土）にUMK「U-doki」で初かつおフェア特集を放映
- ・カツオ消費拡大だけでなく、日南かつお一本釣り漁業の農業遺産認定、漁獲-水揚げ-流通-販売に至る流通を紹介
- ・放送後、Aコープ木花店には初カツオを買い求めるお客様が殺到
- ・「U-doki」、県政番組でカツオフェアの紹介とカツオのプレゼント企画を実施



カツオのPRだけでは購買行動に直結しない。カツオの生産から販売に至る流通を実際の映像で紹介し、水揚げされたその日に、近くのお店に並ぶという「知識」や「新鮮さ」を訴求することで、消費者の「食べたい、買いたい」購買意欲を高めることができた。

(3)「日南産大判かつお」の産地直送販売



イオン宮崎店での販売状況



- ・ 県内イオン、マックスバリュ全店舗で初かつおの購買促進活動を実施
- ・ 試食されたお客様は、大判かつおの美味しさを実感し、殆どご購入
- ・ イオン、マックスバリュの3,4月のカツオ商品の販売金額は前年の1.5倍

(4)南九州大学管理栄養学科の学生さん考案レシピを活用した「かつお総菜」の販売

- ・ 南九州大学と南那珂農林振興局、農業遺産保全推進協議会（日南市）、イオン九州、宮崎のさかなビジネス拡大協議会の共同企画として、南九州大学 管理栄養学科の学生がカツオを使用したアレンジレシピを考案し、全16品のレシピの中から4品を活用した惣菜がイオン宮崎店およびマックスバリュ各店で販売
- ・ イオン、マックスバリュの3,4月のカツオ総菜の販売数量は前年の約87倍（金額では172倍）



(5)日南初かつおフェア

- ・ イオン宮崎店特設コーナーで4/15-17にわたり、日南初かつおフェアを開催
- ・ 日南かつお一本釣り船団が水揚げしたカツオの販売・カツオ加工品の販売・「魚うどん」「おおどつ天」の実演販売・「伊勢えびずし」限定販売（限定30食）
- ・ 初日（4/15）は高橋日南市長も「かつお販売」で初かつおをPR



(6)日南フェア（宮崎観光ホテル）

- ・日南市と宮崎観光ホテルのコラボ企画
- ・ホテル内レストラン「一木一草」では、南九州大学の学生さん考案のかつおレシピ全11品を提供
- ・料亭「山吹」では日南かつおを使用した会席料理を提供
- ・その他、めいつ美々鰯を使用したメニューや日南で水揚げされたキハダマグロの解体ショー実施



高橋日南市長のふるまい

(7)日南市内のかつおフェア

- ・3月～4月にかけて、日南・南郷地域でかつおフェアを実施
- ・各取組主体とも、宣伝効果も含めて市内での相乗効果を実感

①南郷かつおめしフェア（3/1～3/31）「南郷どれさかな料理フェア実行委員会」

- ・町内5店舗の料理店でかつお飯フェアを開催（南郷町商工会）
- R4年は3,649食の利用（前年の1.8倍）
- 来場者アンケート調査結果（回答者2,292人）
- 住 所；宮崎市49.3%、都城市12.4%、日南市11.9%
- 年 齢；60代以上が55.6%、40～50代が23.8%
- 満足度；満足・ほぼ満足…93%
- フェアは何で知ったか；TV59.4%、クチコミ10.7%、新聞雑誌10.5%、インターネット5.2%
- 企画継続；続けて欲しい；95.5%

②外浦かつおフェア（3/1～5/8）（外浦漁協・道の駅なんごう）

- ・外浦漁協と道の駅なんごうのコラボにより、道の駅なんごうにおいて生鮮カツオの直売、レストランで刺身・虎節の提供（ふるまい）
- 期間限定メニュー（1,200円）：957食の利用
- 期間中ふるまい：2,700食の提供
- 虎節の売り上げ20%増

③カツオ炙り重フェア（4/1～4/30）「日南一本釣りカツオ料理推進協議会」（日南商工会議所）

- ・市内飲食店9店舗で「カツオ炙り重」を1,000円（税込み）、1,000食で提供
- 各店舗で1日20食限定のような限定を付けたため、開店時間から客入りは好調
- カツオ炙り重の年間食数は、H30年まで年間約2万食以上であったものがコロナの影響もありR2年は約1万5千食に落ちたが、R3年は1万9千食に回復した。
- 3月～5月の提供数は、R1；6,773食、R2；3,247食、R3；6,706食、R4；8,200食となり、R2年以降のコロナ禍で外食需要が不安定な中、炙り重フェアの「みんなでカツオを食べようキャンペーン♪」の第1弾（R3）、第2弾（R4）は誘客回復に大きく貢献していると評価。

令和4年3月1日(水)～3月31日(水)

南郷 かつおフェア

期間中のグルメ
100種類以上の新鮮な食材が揃った「かつおフェア」は、多くの人が楽しみにしている。このフェアでは、新鮮なかつおを堪能できるだけでなく、地元の特産品も楽しめる。

かつおめし単品 **500円**

2022年フェア限定
かつおめし・魚うどん
メニュー

参加店リスト:
 ● ホテル丸万 (0987-84-1188)
 ● 錦之家旅館 (0987-84-1188)
 ● 港の駅みいつ (0987-84-1188)
 ● 伊東屋 まつ (0987-84-1188)
 ● 江戸屋 (0987-84-1188)

南郷とれどれかな料理フェア実行委員会事務局
日南市水産振興対策協議会事務局



累計30万食御礼!!
「みんなでカツオを食べよう
キャンペーン」

期間：令和4年4月5日～
※無くなり次第終了

一本釣りがつお漁獲量日本一の宮崎県日南市が
自信をもっとアスメする一膳

かつお祭り重
#日南市公認グルメ認定

港の駅みいつ (0987-84-1188) キャラリーごたま (25-0692)
 魚料理びびんよ (25-5878) うなぎ料理 大浦 (22-3473)
 三代目まんりょう (0987-84-1188) ホテルシーズン日前 (22-5151)
 南郷プリンスホテル (0987-84-1188) ホテルレストランむら (23-8989)
 ひなたの宿日南宮崎 (22-5228)

全店通常価格：1,500円(税込)
⇒ **1,000円(税込)**
先着1,000名様限定

共催：宮崎のさかなビジネス拡大推進協議会

(8)総括

コロナ禍の中、従来のカツオフェア（2月のフェア旗渡し式、知事表敬、スポーツキャンプでのカツオのPRやふるまい、量販店や鮮魚店でのプレゼントキャンペーン）の実施ができなかった。

このため、試行的な取組の意味も含めて、3月1日の漁期到来宣言を皮切りとした日南・南郷地区のフェアと連携・連動した取組のほか、南九州大学と農業遺産保全推進協議会（日南市）、イオン系列店等とのコラボ企画による消費者に直接提案するカツオレシピ作成と販売、産地と量販店との提携による宮崎市での販売促進活動、TV番組での訴求力のあるPR、高橋日南市長自ら先頭に立った日南市の宮崎市内でのPRと購買促進活動という、各団体の連携によるプロモーション活動*に取り組んだ。

※プロモーション活動；広告宣伝、広報（PR）、販売促進（顧客の購買意欲を高め、購買に繋げるための活動）

この取り組みでは、消費者への「明確なメッセージ」「具体性があり直接的なコンテンツ」「話題性や興味をそそらせるアプローチ」となり、TV放映後のAコープへのお客様の殺到、新レシピのカツオ商材やカツオ関連商品の大幅な売り上げ増という結果に繋がった。日南・南郷地区のカツオフェアの盛り上がりや宮崎市の消費活動に波及させるという方向性は、withコロナの中で、効果的な取組であったと評価できるのではないかと。

2 2022年3月～5月の本県（宮崎市）のカツオの消費動向

(1)カツオ購入頻度・購入額 宮崎市全国1位!!

宮崎日日新聞 2022年(令和4年)5月31日 火曜日

カツオ 購入額 購入頻度 宮崎市 全国1位

今年3月の1世帯当たりの「カツオ」の購入額と購入頻度で、宮崎市が初めて全国1位となったことが30日、総務省の家計調査で分かった。

日南市の「かつお一本釣りがつお漁業」が昨年2月に日本農業遺産に認定されたことを受け、毎年春に開くPRイベントを拡充したことが、消費拡大につながったとみられる。

宮崎市の1世帯当たり（2人以上）の購入額は346円。2位の高知市（275円）、3位の山形市（274円）を引き離れた。宮崎市は昨年の215円（全国6位）、2020年の218円（同3位）から大きく躍進した。同市の購入頻度も100世帯当たり77回で全

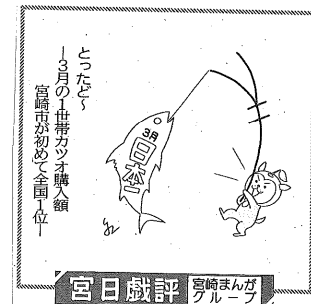
PRイベント奏功

総務省3月家計調査

国トップだった。

本県では10年から毎年、春の「初カツオ」のシーズンに合わせて「宮崎初かつおフェア」を開催してきたが、今春は内容を拡充。宮崎市のスーパーやホテルでのPRイベントを増やしたり、大学生が考案した総菜を販売したりしてきた。

本県は近海カツオ一本釣りがつお漁業の漁獲量が27年連続日本一。昨年1年間の同市の購入額は2111円（全国10位）だった。日南市水産林政課の古澤貴光課長補佐は「日南の船が水揚げしたおいしい初カツオが春の風物詩として定着し、県内での消費量拡大につながれば」と話していた。（岩切康一朗）



- ・総務省の家計調査で2022年3月の1世帯当たりの「カツオ」の購入額と購入頻度で、2000年の調査開始以降、初めて宮崎市が初めて全国1位になったことから、日南市と初かつおフェア実行委員会連名で5月30日（月）にプレスリリースを行った。
- ・NHK、MRT、宮崎日日新聞のほか、毎日新聞等の電子ニュースでも取り上げられ、県民への更なるPRに貢献できた。



NHK放送（6/1）↑

イオン宮崎店での掲示→
（5/31～）



MRT放送（5/30）



UMK放送（6/21）

- ・2017年から2022年（6年間）の3月～5月の宮崎市の「カツオ」購入状況を以下の表にまとめた。

	3月				4月				5月			
	購入頻度 (100世帯あたり) (回)	順位	支出金額 (円)	順位	購入頻度 (100世帯あたり) (回)	順位	支出金額 (円)	順位	購入頻度 (100世帯あたり) (回)	順位	支出金額 (円)	順位
2022年	77	1	346	1	88	3	358	2	81	2	321	6
2021年	48	7	215	6	57	6	221	8	49	16	171	22
2020年	55	4	218	3	68	4	261	4	57	5	227	6
2019年	39	17	153	12	41	18	191	15	44	18	191	17
2018年	46	9	161	10	80	3	307	6	73	7	282	11
2017年	44	9	180	8	45	19	196	18	77	7	282	11
2017-2021平均	46.4		185.4		58.2		235.2		60		230.6	

出典：「家計調査結果」（総務省統計局）を加工して作成
 （※）都道府県庁所在市以外の政令指定都市（川崎市、相模原市、浜松市、堺市及び北九州市）

- ・2022年は黒潮の水温が低く2月以降、南西諸島海域での漁場は北上が遅れ、土佐湾のカツオ漁は例年に比べ2週間遅れとなった。
- ・一方、2021年は黒潮ルートのカツオは十数年ぶりに来遊が多く、愛媛県、高知県、和歌山県、三重県の沿岸カツオ漁は大豊漁となった（土佐湾の漁獲量は対前年比1,000倍）。
- ・このような漁海況の情報と家計調査を比べると、2022年の3月「高知市の購入頻度・額が例年に比べて大きく低下」や、2021年の5月「四国、関西域の購買頻度・額の著しい増加」と符合している。
- ・今期の宮崎市のカツオ購入頻度・金額は過去5年に比べて大きく上昇しており、今年の漁場形成や魚体が大きく品質のよいカツオが多かったということに加え、初かつおフェア関連の取り組みの注目度や盛り上がりから、今回の結果に一定の寄与貢献があったと考えたい。

